日本道徳教育方法学会 第７回オンラインセミナー

Winter 2023

道徳科における“学び”
―令和の日本型学校教育とこれからの道徳（科）教育―

これからの学校における授業改善の方向性を指し示すキーフレーズとして「主体的・対話的で深い学び」が示されたのは平成 29 年から 31 年に改訂された学習指導要領であった。そしてさらに，令和 3 年には「令和の日本型学校教育」の構築をめざして，「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図ることが求められた（中教審第 228 号）。こうした「学び」の実現をめざすこととなった理論的背景として，例えば「自己調整学習」論や「真正の評価」論などが挙げられよう。

では，こうした学習論と道徳科授業とは，今どのような関係にあるのだろうか。また，これからの道徳科授業を考えるにあたり，どのような関係を築いていけばよいだろうか。第 7 回オンラインセミナーでは 3 名の会員からのご提案をふまえ，学習論と道徳科授業との関係性及び結節点を探る機会としたい。

■ 日時・スケジュール

2023. 2／23（祝）13：00 ～ 15：00　Web 会議ｼｽﾃﾑ（Zoom）を使用

13：00	開会のあいさつ		谷田　増幸（会長・兵庫教育大学）
13：05～14：00	提　案	①	尾崎　正美（岡山県瀬戸内市立国府小学校）
		②	眞榮城　善之介（沖縄県那覇市立真和志小学校）
		③	宮川　幸奈（熊本学園大学）
14：00～14：55 登壇者によるﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝと質疑応答			［司会］上地　完治（琉球大学）
14：55	閉会のあいさつ		堺　正之（副会長・九州女子大学）

全体進行：小林　万里子（情報委員会委員長・文部科学省）

■ 参加方法

- Zoom ミーティング情報ならびに参加にあたりご注意いただきたい事項を裏面に記載しています。事前に必ずご確認の上，ご参加ください。
- 登壇者の提案要旨は，1 月末発行予定のニューズレター（第 13 期第 10 号）に掲載されます。

■ 主催

日本道徳教育方法学会

jamme.office@gmail.com
（オンラインセミナー専用アドレス）
https://jamme.sakura.ne.jp/